

2022年4月26日

各位

株式会社アイ・ブレインサイエンス

## アイトラッキング(視線追跡)技術を用いた 新規認知機能評価アプリの販売提携契約について

株式会社アイ・ブレインサイエンス(本社:大阪府、代表取締役社長:高村健太郎、以下「当社」)と大塚製薬株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:井上眞、以下「大塚製薬」)は、アイトラッキング(視線追跡)技術を用いた認知機能評価アプリ(開発コード: AiBS-01)について、日本国内における独占販売契約を締結したことをお知らせいたします。

日本における認知症有病者数は2025年に730万人、2040年には953万人とさらなる増加が予測されており<sup>\*1</sup>、認知症診断の必須検査である神経心理学的検査はMMSE<sup>\*2</sup>が国際的にも広く使用されています。一方で、問診式の検査であるMMSEの実施には約20分の時間を要する<sup>\*3</sup>ことや検査者に専門的な知識や経験が必要とされること、さらには患者さんの心理的負担が強く、より簡便かつ客観性のある検査法が望まれています。

当社が開発を進めている「アイトラッキング式認知機能評価法」はiPadなどのタブレットにインストールした認知機能評価アプリ(開発コード: AiBS-01)を使用し、画像や映像等に対する視線動向の生体的動作から得られるデータにより、モニター画面に表示される内容に沿って画面を眺めることで、MMSEの評価項目に沿って認知機能进行评估します。これにより短時間(約3分)で、非侵襲、簡便でストレスなく認知機能进行评估することが可能となります。

当社では、当該技術を医療機器プログラムとして実用化する取り組みを進めており、国内における臨床試験はすでに終了し、2021年12月、厚生労働省に対して本アプリの医療機器製造販売承認申請を行っています。

このたびの契約締結により、大塚製薬が独占的に販売を実施し、当社は大塚製薬より契約一時金および薬事・販売マイルストーンと売上高に応じたロイヤルティを受領します。

### 【参考】

当社は、平成30年度科学技術振興機構(JST)の研究成果展開事業大学発新産業創出プログラム(START)の「視線検出技術を利用した簡易認知機能スクリーニングシステムの開発による社会システムの負荷軽減」(研究代表者:大阪大学武田朱公准教授)プロジェクトの成果を基に、医療機器プログラムとしての開発を進めております。

※1:「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(平成26年度厚生労働科学研究費補助金  
特別研究事業)より引用

※2:Mini Mental State Examination(認知症のスクリーニングとして使用される神経心理検査)

※3:Haubois et al. BMC Geriatrics 2011, 11:59

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社アイ・ブレインサイエンス 経営企画室

TEL:03-6272-6744

e-Mail:[info@ai-brainscience.co.jp](mailto:info@ai-brainscience.co.jp)